

関係国公立大学長
関係機関の長

殿

宮崎大学医学部長

片岡寛章（公印省略）

【公募期間延長】内科学講座 呼吸器・膠原病・感染症・神経分野教授の推薦について（依頼）

謹啓 時下ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本学医学部では、内科学講座は大講座制を敷き、令和3年度より循環器・腎臓分野、呼吸器・膠原病・感染症・神経分野、消化管・肝胆膵分野、血液・内分泌・代謝分野の4分野からなる予定です。

この度、内科学講座 呼吸器・膠原病・感染症・神経分野の教授候補者を公募しておりましたが、公募期間を延長することとなりました。

については、御繁忙中のところ恐縮に存じますが貴学（機関）及び関連施設に適任者がございましたら、下記により御推薦くださるようお願い申し上げます。

なお、呼吸器・膠原病・感染症・神経分野では学部教育（基礎教育を含む）、大学院教育、研究及び診療を担当していただく予定です。また、内科学講座の各分野の教授は、専門とする診療科の診療科長を併任していただきます。

謹白

記

1 応募締切日 令和2年10月23日（金）必着

2 応募資格

- (1) 医師免許及び医学博士の学位を有すること
- (2) 総合内科専門医の資格を有すること
- (3) 呼吸器専門医、リウマチ専門医、感染症専門医、神経内科専門医のいずれかの資格を有すること
- (4) 呼吸器内科疾患、リウマチ膠原病、感染症、神経内科疾患のいずれかの診療、教育、研究の経験が豊富であること

3 提出書類

- (1) 推薦書 別紙様式1
- (2) 履歴書 別紙様式2
- (3) 業績目録（一般講演を除く） 別紙様式3及び4
- (4) 主要論文（著書は除く）の中、主なもの10編（別刷各8部、コピー可）とその概要 別紙様式5
- (5) 医学部学生に対する教育の実績と方針、自分の研究の概要と今後の展望及び担当分野の管理・運営に関する抱負などをA4判2枚（3000字程度）にまとめたもの。
- (6) 診療実績
 - ・最近5年間に経験した主要5疾患の自験例／指導例数 別紙様式6
 - ・自験例の代表的な25症例の概要（病歴要約など）
 - ・特記すべき診療実績（気管支鏡経験症例数、インフュクションコントロールチーム（ICT）における実績など） 様式任意

(7) 研究費採択状況・・・・・・・・・・・・ 別紙様式7

(過去10年間の科研費、その他の助成金など、課題名、代表／分担の別、金額も記載)

※本学様式を

<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/wp-content/uploads/2020/09/yoshiki-2.docx>

からダウンロードの上作成すること。

3 書類提出先

〒889-1692

宮崎県宮崎市清武町木原5200

宮崎大学医学部長

※郵送の場合は書留とし、封筒の表に「内科学講座 呼吸器・膠原病・感染症・神経分野
教授応募書類在中」と朱書してください。

4 待遇等

(1) 着任 日：令和3年4月1日(木) (予定)

(2) 任期：5年間 ※再任審査の結果に基づき大学が必要と認める教員については、雇用期間の定めのない教員として更新することが可能です。

(3) 給与：本学職員給与規程に基づき支給

(4) 勤務形態：専門業務型裁量労働制(週38時間45分相当、1日7時間45分相当)

(5) 休日：土曜日、日曜日、祝日、年末年始

(6) 休暇：年次有給休暇、その他特別休暇(結婚、忌引、リフレッシュ、夏季、病気、産前、産後)、育児休業(無給)等

(7) 保険等：共済保険・厚生年金等・雇用保険・労災保険に加入

5 問い合わせ先

宮崎大学医学部総務課学部系人事係長

TEL0985(85)9027

6 その他

(1) 関連分野での資格がありましたら、別紙様式2に記載してください。

(2) 選考の過程において、候補者(3名程度)に講演をお願いします。また、それ以前に選考委員会によるインタビューを実施することがあります。

講演等にかかる旅費・滞在費等については、すべて応募者の自己負担となります。

なお、社会情勢等により、講演等をオンラインで行うことになった場合には、その際に発生する通信費及び機器にかかる費用も、すべて応募者の自己負担となります。

(3) 応募の際に提出された論文別刷等は原則として返却しません。

(4) 宮崎大学での男女共同参画推進事業の実施を踏まえ、選考過程で同等の能力とみなされた場合は、女性を優先して採用します。

(5) 国家公務員・地方公務員等から引き続き本学に採用されることとなった場合でも、退職手当は原則として通算されません。